



教育のユニバーサルデザインと合理的配慮

学び手の視点で授業をデザインする!

教育のユニバーサルデザインとは発達障害のある、なしに関わらず、より多くの子どもたちにとって分かりやすく、学びやすく配慮された教育のデザインではないでしょうか。それは、様々な学びや行動につまずきを持つ子が、通常学級の日常において学習や活動に興味を持ち、新たに視野を広げられるような工夫と言えます。

このDVDでは、教育のユニバーサルデザイン(全体支援)と合理的配慮(個別支援)の両輪で、より多くの子どもたちが安心して学ぶことのできる場をどう作っていくかを解説します。

その中で、「わかる・できる」楽しい授業の手立てとして、授業UDの3本柱(視覚化・焦点化・共有化)と、それに基づく5つのテクニック(ひきつける・むすびつける・方向づける・そろえる・わかったと実感させる)を意識した授業づくりについて、具体例を挙げながらわかりやすく解説します。

F20-1 ユニバーサルデザインと合理的配慮の視点(53分)

- 学校における合理的配慮
 - ・さまざまな困難や支援ニーズ
 - ・合理的配慮と基礎的環境整備
 - ・読みにつまずきのある子の支援例
 - ・ユニバーサルデザインと合理的配慮
- ユニバーサルデザインとは
 - ・日常におけるユニバーサルデザイン
 - ・ユニバーサルデザインで大事なこと
 - ・授業UD化の例 ・授業UD化のための柱
 - ・UD授業の基本形 ・ユニバーサルデザインのキーワード
- ユニバーサルデザインの視点をどう教育に活かすか?
 - ・学生からの授業に関する意見
 - ・ユニバーサルデザインの7原則
 - ・「わかりやすく」 ・「柔軟に」 ・「シンプルに」
 - ・「伝わりやすく」 ・「間違いへの配慮」
 - ・「疲れにくく」 ・「活動スペースを確保する」

F20-2 ユニバーサルデザインの授業づくり・学級づくり(59分)

- 学び手のつまずきを考える
 - ・どのようなつまずきが見られるか
 - ・注意・集中に課題がある
 - ・つながりを見つけるのが苦手
 - ・共通点を見つけることの困難
 - ・ポイントをつかむのが苦手
 - ・学習への意欲が低下しやすい
- 教育のユニバーサルデザインとは
 - ・教育における3つのユニバーサルデザイン
 - ・教室環境のUD化
 - ・授業のUD化
 - ・人的環境のUD化
 - ・まとめ

入門に最適! 基本的な考え方から実践アイデアまで紹介!

解説



阿部利彦 先生

(星槎大学大学院 教育実践研究科 准教授)

埼玉県特別支援教育推進委員会 委員長
日本授業UD学会 理事
特別支援教育士SV

1. 学校における合理的配慮
読みにつまずきのある子の支援例

子どもたちの会話に耳を傾けてみて下さい。最近心が傷つく言葉や、イライラしてくる言葉、友達との元気を奪う言葉が多く聞かれます。このような言葉をチクツと言葉と呼びます。

今、当たり前のように、あいさつの代わりに、チクツと言葉が飛び交っていますが、そのために友達との間でトラブルが起きることも増えてきています。



シンキングツールを活用する

4. 学び手のつまずきを考える つながりを見つけるのが苦手

- ・マトリックス表: 複数の観点を関連させて情報を整理する場面で
- ・ベン図: 共通点と相違点を考える場面で
- ・Xチャート図、Yチャート図: 3つ、または4つの観点を整理する場面で
- ・クラゲチャート: 文章の構造を整理する場面で
- ・マインドマップ

考えの「見える」化

※本DVDは、2018年5月に行われたセミナーを収録したものです。

商品詳細・ご注文は通販サイトから... www.japanlaim.co.jp/ サンプルムービー配信中

JLC ジャパンライム株式会社

TEL.03(5840)9980 FAX.03(3818)6656

ジャパンライム F20

検索

【お申込み・お支払い方法】○ご希望の商品番号を指定し、電話かハガキ、FAX、もしくはDVD通販サイトにてお申込みください。受注確認後3~6営業日後でお届けします。
○送料は1回につき741円+税。○到着日指定で「代金引換(手数料無料)」の宅配便でお送りします。○カード(VISA、MASTER、AMEX、他)もご利用できます(分割も可)。

F20
2018.09